



2021.6.22
縄瀬 保育園
池之上 俊江
NO. 5

【子どもに教わることも沢山です！！】

縄瀬では、5組の飼育当番が日課です。「5組さん飼育しよう！！」声を掛けたものの道具がどこにあるかわからない私がうろろうろしていると、R君が寄ってきて「一番は、アヒルからね。その前に雨靴をはくんだよ」彼も5組になったばかりですが、掃除の準備、段取りをそれは優しく教えてくれました。前の5組の様子を見ていたのでしょうか。飼育と言いますが、アヒルの家、にわとり小屋、うさぎの家の掃除・餌やりと沢山です。人に物事を知らせる時は、自分がその事をきちんと把握して、理解していないと相手に順序立てて説明ができません。R君はそれができています。この保育に変わり、様々な場面で、5組が3組や4組に説明したり、提案する場面をよく目にします。年上に憧れ、年下を労わる関係が子ども達を成長させているのだなと思いました。縄瀬へ異動になり数カ月・・・園長は何でもできて、知っていて当たり前！という考えが頭のどこかでありました。しかし私より彼らの方が、縄瀬歴は先輩です。子ども達は私がまだ色々知らない事を気遣うように、「園長、これはこうだよ」と声を掛けてくれます。その優しさが嬉しい日々です。

【好きこそものの上手なれ】

私も中学時代から好きな言葉です。ある日、私がパズルをしていると4歳児の男児が来ました。「一緒にする？」「する！」数分は一緒にしたもののどこにはめたらよいか分からず、「できない～。分からない～。」でも、遊びたい気持ちは強く、無理にはめ込もうとしていました。「ここの線を見て似た形を探してみよう」。約15分かけて一緒にパズルを仕上げました。「できた～！！楽しかった～」とにっこり。仕上げた事が自信となり、次の日からパズルブーム。見る度にパズルに没頭しています。今では高度なパズルも進んで選び、完成させます。中国の思想家だった孔子と、その弟子の問答を集めた「論語」の中に、「好きこそ物の上手なれ」と似た意味を持つ言葉があります。それが「之を知る者は、之を好む者に如かず 之を好む者は、之を楽しむ者に如かず」です。どんな物事でも、上手くなったり深く知ったりするためには、その物事に興味を持つことが大切と言われています。興味を持つことで、その物事を好きになり、そこから上達が始まる、という古くから言い伝えられてきたようです。大人のちょっとしたヒントからあきらめず、自分で決めた事だからこそ夢中になれたのでしょうか。乳幼児期に遊びを自分で選択する事で自己選択、自己決定する力が育つのです。自分で決めたからこそ楽しめる。そんな経験を沢山してほしいものです。

【なぜ口拭き、エプロン、手拭きは白がいいのか？】

345組の手拭き、エプロン等白を準備して頂いています。その理由は、汚れが一番わかりやすい色だからです。白は汚れが目立つので洋服等はあまり選ばないと思います。しかし口拭きは白を使用する事で、綺麗になったと汚れを認識しやすいのです。また白は清潔感もあります。また色に邪魔されないのもシンボルに目がいえます。子どもには清潔なタオルを使ってもらいたいので、色が変わったり、汚れてきた時は随時販売していますので遠慮なく声かけて下さい。

【なぜシンボルマークがあるのか？】

入所すると一人ひとりシンボル(帳面やロッカーになるマーク)が決まり、卒園するまで変わりません。乳幼児期は発達的に文字より、絵や標識が目いくのでシンボルは文字認識への初歩となるのです。自分の席はここなんだ。これは自分の手拭きなんだと自分の場所や持ち物を認識できるようになります。のちに345組になると、シンボルと文字をセットで認識できるようになり文字への興味へとつながるのです。口拭き等へシンボルを記入して頂き、嬉しそうな子ども達です。朝の忙しい時間帯の準備の御協力本当に感謝しています。